

令和6年度 島田樟誠高等学校 学校評価書

教育目標

自ら求めて学ぶ自主自律の精神を養い、心身を鍛えるとともに、校訓「誠、愛、勇」の下に人格の完成をめざす。

教育方針

- 1 充実した学校生活を送るために明確な目標を持たせる。
- 2 学習に積極的に取り組む姿勢を育て、学力を向上させる。
- 3 部活動などに積極的に取り組む姿勢を育て、心身共に健やかな成長を図る。
- 4 思いやりの心や規範意識を育み、社会性を身に付けさせる。
- 5 進路意識を高め、組織的・系統的な指導を通して進路目標を達成させる。

令和6年度における学校経営方針と具体的目標

学校経営 方針	具体的目標	自己 評価	成果と課題	関係者 評価
教育課題 の解決に 積極的に 取り組む。	目指す学校像 や育てたい生 徒像の共通理 解を深め、実 現のために具 体的な対応を 行う。	B	「知識・技能を身につける」、「新しい自分を発見する」、「人間性を高める」、という目標に基づいて教育活動を展開した。令和7年度入試における本校への志願状況は、単願239人、併願438人（1/20時点）で、単願者総数は昨年（228人）より若干向上している。併願者は昨年（480人）より下回っている。地区的には菊川、掛川地区で増加が見られた。一方本年度の転退学者数は11人（1/20時点）で、昨年度（22人）から半減するなど改善が見られた。	B
	授業を効果的 に実施するた めICT教育を 積極的に推進 する。	B	1,2年全生徒、及び3年特進、進探生徒にiPadを持たせ、同様に教室にモニターを設置した。授業でipadを使用した教員74.3%、教室モニターを授業で使用した教員63.9%であった。一方ロイロノートの授業使用は52.8%で改善の余地がある。11月以降1月までICT機器活用公開授業を実施し、8教科9人の教員が授業公開した。授業参観者も延べ70人であり、教員のICT授業スキルも着実に向上している。保護者アンケートでは、この項目について85%が達成という評価であった。	B
	部活動や生徒 会活動等に全 力で行い、心 身を鍛え達成 感が持てるよ うに指導する。	A	全校の部活動加入率は全体で69%（男子72%、女子63%）で昨年より加入率が上がっている。部活動設置状況は、運動部が13、文化部が9。主な運動部活動実績（高校総体、新人戦、選手権等）として、卓球部は団体で男女東海総体出場、県新人戦で女子が東海選抜出場した。さらに東海選抜5位に入賞し3月の全国選抜大会出場を決めた。個人戦では1年女子草間さんが県総体準優勝（全国総体出場）した。また東海総体にはシングルス、ダブルスでも出場した。草間さんはさらに	A

			全日本卓球選手権ジュニアの部で県 5 位となり全国大会に出場した。その他県大会出場の運動部は、バレー部、陸上部、水泳部、バドミントン部、柔道部、弓道部。特に柔道部の小酒部君、上田さんは個人戦で県 3 位の活躍を見せた。文化部では将棋部西澤さんが女子個人戦で県 3 位に入った。保護者アンケートでは、この項目について 92%が達成という評価であった。	
目標意識を育てる。	学校生活の様々な場面で具体的な目標を持たせる。	A	年度当初それぞれの学年、及び各 HR でクラス目標を定めた。全てのクラスで教室に目標を掲示し意識づけを行った。全学年で週 1 時間、総合的な探究学習「夢実現プロジェクト」を実施し、進路目標設定や実現に向けて前向きに取り組ませた。	A
	目標達成の手掛かりとして資格試験や検定試験等に積極的に挑戦させる。	A	生徒たちが挑戦した主な検定は、漢字検定、英語検定、数学検定、日本語ワープロ検定、表計算検定、文書デザイン検定などである。うち上位級（2 級以上）合格者（1/20 時点）は、英検 2 級（6 人）、漢検 2 級（10 人）、数検準 1 級（1 人）、表計算 2 級（1 人）、文書デザイン 2 級（6 人）、プレゼンテーション 2 級（3 人）等である。保護者アンケートでは、この項目について 86%が達成という評価であった。	A
学習指導を充実する。	校内や校外の研修に積極的に取り組み、教員の資質向上に努める。	A	研修委員会が主催し初任者研修、及び若手教員研修を実施した。初任者は研究授業も行った。県私学協会主催の研修（初任研、5 年研、10 年研、リーダー研）に該当教員が参加した。またオンライン研修システム「Find アクティブラーナー」により、日常的に研修に取り組んでいる。また特別支援教育スキル向上のためカウンセラーによる校内研修を実施した。	A
	授業の質を高める探究学習、及び地域と関わる学習活動を積極的に行う。	A	探究学習向上のため 1 年で外部組織「探究のミカタ」と連携し外部企業の課題解決に取り組んだ。2 年でも昨年同様「ミライプロジェクト」を実施し、島田商工会との連携で授業の質を高めた。3 年は探究学習により進路実現に結びつけた。特進コースも、独自に大学、地域企業との連携をすすめ積極的に取り組んだ。保護者アンケートでは、この項目について 86%が達成という評価であった。	A
	朝読書等を通じて、読書の習慣を身に付けさせ、語彙力・読解力を向上させる。	B	年間をとおり毎朝 10 分間の朝読書を実施し読書記録を記入させた。また読書習慣定着のため「図書館だより」を 9 号発行（3 月までに 11 号予定）した。さらに「読書王」（年間最多読書者）「図書館王」（年間最多図書館本借受者）を表彰し生徒たちの読書欲を刺激した。今年の読書王は年間 52 冊読破し、図書館王は年間 116 冊借りて読書に親しんだ。一方国語科の夏季休業中生徒個々に読みたい本を注文させる取組を今年度も継続した。保護者アンケートでは、この項目について	B

			77%が達成という評価であった。	
生活指導を徹底する。	規則正しい生活習慣を確立し、欠席、遅刻をしないように指導する。	A	全校生徒の出席率の平均は97.4%（12月まで）で概ね良好である。また12月実施の学校生活アンケートの結果、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した生徒は、3年生76%、2年生84%、1年生78%と概ね良好であった。また保護者から見たわが子の学校生活全般への満足度（「満足」及び「どちらかといえば満足」）は、94%と良好であった。一方規則正しい生活習慣を定着させる本校の教育に対して94%の保護者が評価している。	A
	全教職員が共通認識を持ち、統一感のある生徒指導を行う。	B	生徒指導にブレがないよう服装、頭髪、及び眉ピアス指導を毎月実施。また学期に一度全校での指導も行い統一感のある生徒指導が実施できた。一方生徒指導を受けた件数（校長訓戒以上）は年間14件（1/20時点）で、昨年度（10件）より若干増加している。生徒指導の内容としてSNS上でのトラブルが多々あるので、全校生徒を対象としてスマホ講座及び男女別のモラル講座を実施した。また多欠席等悩みを抱える生徒たちのためにカウンセラー2名が週3日来校して生徒相談を実施している。	B
進路指導を充実する。	「夢実現プロジェクト」等を有効活用し、早期から進路目標を明確に持たせる。	A	夢プロ授業で1年は「探究のミカタ」と連携、2年は島田商工会と連携し社会と直接関わる単元を行った。その結果生徒たちの進路探究が活発に行われた。3年は在籍227人中、就職希望74人（33%）、進学希望153人（67%）であった。このうち1/20時点就職内定者69人（内定率93%）、進学先決定者137人（決定率90%）であった。	A
	進路目標を達成させるために、組織的、体系的な指導を強化する。	A	進路サポーター教員が3年生に直接指導する「進路集会」を11月までに6回実施し、全職員で進路指導を行った。主な就職内定先は、スズキ株式会社9、矢崎部品大浜工場3、矢崎計器2、矢崎ものづくりセンター2、ヤマハ発動機2、小糸製作所2、伊藤園産業2、ハラダ製茶2などである。特別進学コースは1月20日現在18人中12人（67%）が国公立大学合格を決めている。主な進学先は東京外国語大学、広島大学、茨城大学、新潟大学、静岡大学等である。また常葉大学11人、静岡産業大学12人、静岡福祉大学6人など私立大学でも着実に合格実績を上げている。保護者アンケートでは、この項目について90%が達成という評価であった。	A
安全や健康に関わる教育を推進する。	交通安全に対する意識を高め、交通ルールの遵守を徹底する。	B	交通安全委員会が中心となり街頭指導を年3回（5月、10月、1月）に行い、交通マナー遵守を呼びかけた。また交通安全講習について4月全校対象、10月3年生対象で2回行った。3年生は自動車免許取得を見据え自動車学校関係者に講師を依頼した。さらに年度当初に自転車点検を一斉に行っている。	B

			年間交通事故数（1/20 現在）19 件（昨年度 15 件）であり、昨年より若干増加した。保護者アンケートでは、この項目について 92%が達成という評価であった。	
	健康についての関心を高め、感染症予防など日常の健康管理ができるよう指導する。	A	コロナ、及びインフルエンザウイルス感染予防のため全教室に手指消毒液を設置している。保健委員会では健康啓発のため「保健便り」を 1 月 20 日現在 11 号まで発行した。なお 3 月末までに 13 号まで発行予定である。保護者アンケートでは、この項目について 85%が達成という評価であった。	A
	地震等の災害に対する防災意識を高め、防災訓練等を効果的に実施する。	B	地震想定避難訓練を 2 回実施（6/6, 10/23）した。6 月はグラウンド避難、10 月は雨天のため放送によるイメージ訓練を行った。両日とも訓練当日朝、防災委員が各 HR で防災行動を説明し啓発を図った。12/1 県一斉の地域防災訓練への本校生徒参加率は、28%（昨年度 21%）であった。昨年度よりも若干だが参加率は向上している。保護者アンケートでは、この項目について 86%が達成という評価であった。	B

A～Dの評価については次のように規定する。

- A 十分に達成できた。
- B おおむね達成できた。
- C やや不十分な面が見られた。
- D 不十分であった。